

2025 年 2 月 3 日  
日本船主協会 海務部

### 海賊対処行動派遣部隊がアデン湾に向け出航

～ 派遣海賊対処行動水上部隊（第 50 次隊）出国行事の様相 ～

ソマリア沖・アデン湾における海賊対処行動のための第 50 次派遣海賊対処行動水上部隊の出国行事が 2 月 2 日に開催され、初めての海賊対処行動に赴く護衛艦「あさひ」が長崎県の佐世保港から出航した。

高城正太艦長が指揮を執る「あさひ」には、ソマリア周辺海域派遣捜査隊を編成する徳永省吾隊長以下海上保安官 8 名を含め、約 200 名が乗り組み、現在活動中の第 49 次隊の護衛艦「むらさめ」と交代する。なお、同艦は中東地域における情報収集活動も兼務することとしている。

式典では清水徹護衛艦隊司令部幕僚長が、「あさひがワンチームとなって任務を完遂することを期待する。」と大町克士自衛艦隊司令官の訓辞を代読した。

また、彼末浩明海上保安監は、「高い緊張状態での任務となるが、最高のパフォーマンスを発揮してくれるものと確信している。」と挨拶した。

当艦乗員を統べる高城艦長は、「皆様からのご支援、激励、ご期待を胸に、任務完遂のため元気に行ってまいります。ただいまから出国します。」と報告した。

当協会からは篠原康弘理事長が「宜しくお願いします！お気をつけて！」と任務に赴く乗員に想いを伝えた。

当協会からは篠原理事長をはじめ、飯野海運(株) 井上徳親常務執行役員、NS ユナイテッド海運(株) 高見隆昌執行役員、三菱鉱石輸送(株) 足立憲一取締役および、池田康宏グループ長、日本郵船(株) 進藤航海務グループ長、(株)商船三井 富山茂部長代理が参加したほか、国際船員労務協会および、全日本海員組合からも行事に参加した。

出席者一同は、岸壁から、任務に向かう「あさひ」の安全航海と乗員の無事を祈りつつ、手を振って見送った。

## 出国行事



訓辞を代読する清水幕僚長



挨拶する彼末海上保安監



出国報告を行う高城艦長



左より 篠原理事長、俵佐世保地方総監、清水幕僚長



登舷礼で出航する「あさひ」



出港を見送った参加者